もし

「地震」が発生したら…

焦らず行動しましょう！

①落ち着いて身を守る
　塀や家具から離れ、安全な場所で頭を守る。

②安全確認
　揺れがおさまったら安全確認。火の元にも注意を！

③情報収集
　余震に備えながらテレビやラジオ、インターネットなどで情報収集をしましょう。

④避難（状況に応じて）
　家屋倒壊の危険性があれば避難を！

震度と揺れの状況	
震度０	人は揺れを感じないが、地震計には記録される
震度１	揺れをわずかに感じる人がいる
震度２	屋内で静かにしている人の大半が揺れを感じる
震度３	屋内にいる人のほとんどが揺れを感じる
震度４	歩いている人のほとんどが揺れを感じる
震度５弱	大半の人が恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる
震度５強	大半の人が行動に支障を感じる　R3 福島県沖地震時の鏡石町の震度
震度６弱	立っていることが困難になる　H23 東日本大震災時の鏡石町の震度
震度６強	立っていることができず、はわないと動けない
震度７	固定していない家具のほとんどが倒れる

鏡石町公式 LINE で防災情報をチェック！

LINE

①町からのお知らせや緊急情報を発信！
②あなたの質問に「AI」がお答えします！
③必要な情報だけ選んで受信できます！

「友だち登録」はこちらから

備え　できてい　ますか？

非常時の持ち出し品を
確認しておきましょう
（水や食料は３日分は確保しましょう）

※非常時の持ち出し品や備蓄品については、福島県から配布される「マイ避難ノート」も参考にしてください。

令和元年東日本台風、今年２月の福島県沖地震。災害が少ないと言われていた鏡石町でも、近年大規模な災害が頻発しています。福島県では、「これまでの大丈夫が、いま危ない。」をキーワードに、災害に備えるようお願いしています。

９月１日は防災の日です。町民の皆さん、災害に備えていますか？もう一度一緒に確認しましょう。

もし

「風水害」が起きたら…

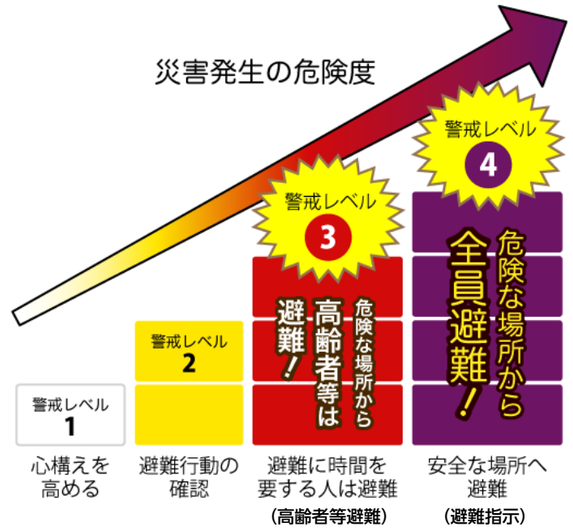
①情報収集
　気象情報や河川の水位などの情報を収集。町からの避難情報も確認。

②避難準備
　家族と連絡を取り、避難の準備をする。危険を感じたら、早めの避難を！

③避難
　できるだけグループで避難。高齢者やこども、障がい者の避難協力を。

☆無理な避難は危険！
　避難が遅れたり、家の周りが浸水している場合は無理に避難せず、建物の２階以上で待つことも重要です。

警戒レベル４で危険な場所から全員退避！
５段階の警戒レベルを確認しましょう！



［警戒レベル５］（市町村が発令）は既に災害が発生・切迫している状況です。

災害に備えて

大雨や地震などの災害から大切な命を守るには、災害時の適切な行動はもちろん、日ごろの備えが重要です。常備品や避難時に持ち出す物を確認しておきましょう。

また、少しでも被害を少なくするために、家の中や周りを点検しましょう。

【溝・雨どいの掃除を】

大雨時に浸水の原因となるため、日ごろから自宅周辺の溝や雨どいの落ち葉、ごみを取り除いておきましょう。

【強風への備えを】

台風が近づいてきたら、植木鉢や自転車など飛ばされそうなものは固定するか、屋内にしまいましょう。万が一ガラスが割れたときに備え、飛散防止用のテープを貼ることも有効です。

【雷から家電を守ろう】

直接落雷しない場合でも、落雷時の高電圧が電線を伝ってテレビやパソコンが破損してしまうことがあります。近くで雷鳴が聞こえたら、家電製品の電源を切って、コンセントを抜きましょう。

【家具はしっかり固定】

地震の際に倒れないよう、家具はできるだけ固定しましょう。また、倒れた家具が出口をふさがないよう配置することも重要です。

【避難経路をチェック】

自宅の周辺や避難経路で倒れてきそうなブロック塀や壁がある場所をチェックしておき、地震の時は近くを通らないようにしましょう。

災害関連情報の収集先

気象情報	【気象庁ホームページ】 気象警報、雨雲の動き、台風の経路などが確認できます。	
河川水位	【福島県河川流域総合情報システム】 県内各地点の雨量や河川の水位を確認できます。	
	【国土交通省　川の防災情報】 市町村ごとの洪水予報、避難情報等を確認できます。	